



2019年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年1月29日

上場会社名 株式会社 エンチョー

上場取引所 東

コード番号 8208 URL <https://www.encho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 健夫

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 奥野 孝

TEL 0545-57-0850

四半期報告書提出予定日 2019年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	29,763	1.0	687	19.9	553	29.0	364	11.6
2018年3月期第3四半期	29,455	△2.1	573	2.7	429	7.3	326	28.4

(注) 包括利益 2019年3月期第3四半期 284百万円 (△31.5%) 2018年3月期第3四半期 414百万円 (30.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	53.26	—
2018年3月期第3四半期	47.70	—

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第3四半期	38,191	9,441	24.7	1,380.65
2018年3月期	37,825	9,294	24.6	1,359.10

(参考) 自己資本 2019年3月期第3四半期 9,441百万円 2018年3月期 9,294百万円

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2019年3月期	—	5.00	—		
2019年3月期(予想)				10.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金については、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は5円となり、1株当たり年間配当金は10円となります。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,300	1.1	570	1.2	390	2.8	260	△6.7	38.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式併合の影響を考慮しております。詳細については、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期3Q	6,857,497 株	2018年3月期	6,857,497 株
② 期末自己株式数	2019年3月期3Q	19,206 株	2018年3月期	19,013 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期3Q	6,838,404 株	2018年3月期3Q	6,838,674 株

(注)当社は、2018年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び連結業績予想について)

当社は、2018年6月28日開催の第57回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日付で、普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。なお、株式併合考慮前に換算した2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 2019年3月期の配当予想
1株当たり配当金 第2四半期末 5円00銭(注1) 期末 5円00銭(注2)
2. 2019年3月期の連結業績予想
1株当たり当期純利益 通期 19円01銭

(注1)第2四半期末の配当は、株式併合実施前の株式数に対して支払いを行っております。

(注2)株式併合考慮前に換算した配当額です。

(注3)2019年3月期の年間配当金(株式併合考慮前)は10円00銭となります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益の改善による設備投資の増加や、雇用、所得環境の改善などにより、景気は緩やかな回復基調が続いているものの、各地で発生している自然災害や、米中貿易摩擦の拡大が及ぼす影響が懸念され、先行きは不透明な状況が続いております。

ホームセンター業界におきましては、企業収益の回復基調と比較して個人消費は力強さに欠け、ネット通販や異業種も含めた競争もあり、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、地域の人々の快適な住まい・暮らしをサポートする地域No.1の企業グループを目指し、中期経営計画スローガンとして「ENCHOアクション」を掲げ、地域に根差した品揃えの最適化と専門店事業推進による売上高の拡大、仕入力とコスト削減意識の強化による「収益力の向上」、在庫回転率の向上を図る「在庫の適正化」、業務の見直しなどによる働きやすい職場環境づくりを目指す「働き方改革」の取り組みを推し進めております。

店舗につきましては、静岡県駿東郡清水町のサントムーン柿田川ショッピングセンターのリニューアル計画に伴い、2018年10月、アウトドアショップ「SWEN三島店」並びにホームファッションショップ「casa駿東店」を同センター内で移転をし、リニューアルオープン致しました。また、ホームセンター「ジャンボエンチョー菊川店」を全面改装し、リニューアルオープン致しました。この結果、当第3四半期連結累計期間において、ハードウェアショップ「ハードストック」を1店舗、アウトドアショップ「SWEN」を1店舗、100円ショップ「ダイソー」を1店舗開店し、既存店を2店舗移転、1店舗を改装しております。

販売につきましては、ホームセンター事業において、暖冬により暖房用品等は伸び悩みましたが、夏の猛暑により、レジャー用品、冷房用品等の夏物季節品の販売が伸長したほか、相次ぐ自然災害により災害関連商品の販売が大きく増加しました。また、専門店事業のハードウェアショップ及びアウトドアショップにおける販売は、新店の寄与に加え、既存店の販売も引き続き好調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、29,763百万円(前年同期比101.0%)となりました。利益につきましては、昨年リニューアルした当社ショッピングセンター「ベイドリーム清水」全体の活性化による不動産賃貸収入の増加や、ホームセンター事業における広告宣伝費等の販売費の減少などにより、営業利益は687百万円(同119.9%)、経常利益は553百万円(同129.0%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は364百万円(同111.6%)となり、増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ366百万円増加し、38,191百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ979百万円増加し、14,378百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,317百万円、商品の減少392百万円によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ612百万円減少し、23,813百万円となりました。これは主に建物及び構築物の減少169百万円、建設仮勘定の減少121百万円、有形固定資産のその他の減少76百万円、投資有価証券の減少101百万円、長期貸付金の減少70百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ219百万円増加し、28,750百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ1,813百万円増加し、18,198百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加1,438百万円、短期借入金の増加169百万円、流動資産のその他の増加186百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ1,594百万円減少し、10,552百万円となりました。これは主に長期借入金の減少1,264百万円、退職給付に係る負債の減少98百万円、固定負債のその他の減少214百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ147百万円増加し、9,441百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加227百万円、その他有価証券評価差額金の減少77百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は、24.7%(前連結会計年度末は24.6%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月11日の「2018年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,229	3,546
受取手形及び売掛金	942	933
商品	9,824	9,432
仕掛品	3	4
貯蔵品	17	20
その他	382	442
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	13,399	14,378
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,011	6,841
土地	12,456	12,456
建設仮勘定	151	29
その他(純額)	820	744
有形固定資産合計	20,439	20,072
無形固定資産	88	88
投資その他の資産		
投資有価証券	591	490
長期貸付金	981	910
敷金及び保証金	1,744	1,731
繰延税金資産	254	200
その他	331	323
貸倒引当金	△5	△3
投資その他の資産合計	3,898	3,652
固定資産合計	24,425	23,813
資産合計	37,825	38,191
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,897	7,336
短期借入金	8,077	8,247
未払法人税等	86	100
ポイント引当金	26	29
その他	2,297	2,484
流動負債合計	16,385	18,198
固定負債		
社債	322	299
長期借入金	9,392	8,127
退職給付に係る負債	467	368
資産除去債務	415	422
その他	1,548	1,334
固定負債合計	12,146	10,552
負債合計	28,531	28,750

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,902	2,902
資本剰余金	3,435	3,435
利益剰余金	2,789	3,017
自己株式	△16	△17
株主資本合計	9,111	9,338
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	157	79
退職給付に係る調整累計額	25	22
その他の包括利益累計額合計	182	102
純資産合計	9,294	9,441
負債純資産合計	37,825	38,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
売上高	29,455	29,763
売上原価	20,921	21,150
売上総利益	8,533	8,613
営業収入	880	942
営業総利益	9,414	9,555
販売費及び一般管理費	8,841	8,867
営業利益	573	687
営業外収益		
受取利息	15	14
受取配当金	13	14
その他	20	20
営業外収益合計	49	49
営業外費用		
支払利息	119	110
シンジケートローン手数料	54	55
その他	19	17
営業外費用合計	193	183
経常利益	429	553
特別損失		
有形固定資産売却損	10	—
特別損失合計	10	—
税金等調整前四半期純利益	418	553
法人税、住民税及び事業税	52	106
法人税等調整額	40	83
法人税等合計	92	189
四半期純利益	326	364
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	364

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	326	364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	84	△77
退職給付に係る調整額	3	△2
その他の包括利益合計	88	△80
四半期包括利益	414	284
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	414	284
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分とし、繰延税金負債は固定負債の区分としております。